

第28回地域医療・介護研究会 レポート

日時：2017年6月23日(金) 18:30~20:00 晴
場所：ちどりビル2F 参加者：47名

今回のテーマは『情報共有』でした。千代診が活用を開始した“カナミック”を試用し、ICTツールを用いた情報共有について体験し、課題を深めました。



千代診療所 園田医師

< ICTツールの活用について >

千代診療所在宅診療部の園田梨絵医師が、情報共有にけるICTツールの活用例、その上でのメリット・デメリット、今後の課題を報告しました。

活用例

- ・患者リスト（時間外待機医師の担当外患者の把握）
- ・申し送り（ターミナル患者の状態など）
- ・治療方針共有（患者・家族への説明内容の共有）
- ・とん服薬など医師の指示の共有
- ・職種間の相談（画像を使つての皮膚の状態など）

メリット

- ・いつでも、電子カルテがなくても、患者情報にアクセスできる。

- ・タイムリーに情報をアップできる。
 - ・写真をアップでき、皮膚の状態を視覚で伝えることができる。それにより緊急度の判断がし易い。
- ### デメリット
- ・患者登録が煩雑
 - ・電子カルテと別なので、入力の手間がある
 - ・全ての報告（いろいろな人がアップした情報）に返答しないといけないのかとプレッシャーになる。

今後の課題

- ・活用例を増やす
- ・使用する事業所を増やす
- ・業務負担軽減につながる様な仕組みづくり

<使ってみよう“カナミック”>

実際にカナミックを使ってみました。



カナミックの説明をする
電算室部長 大崎



<感想>

- ・慣れるまでが大変そう
- ・音声入力ができるのは便利
- ・多職種とリアルタイムに現状の把握ができて、その場ですぐに対応できることが良い。

（次回は8/25(金)です。是非ご参加ください）